

古墳教室

7月9日(月) 12日(木)

1年生の社会の授業の一環として「古墳教室」を開催しました。福井市文化財保護課から、講師をお招きして、主に福井県の古墳について学習しました。質問コーナーでは、「山の上に古墳が多いのはどうしてなのか?」という問題に「川が氾濫して、流されてしまうから」と答えた生徒に対し、講師の方からお褒めの言葉をいただきました。

1年1組・2組(61名)



山場さん

卑弥呼が魏の国から授けられたといわれている「三角縁神獣鏡」のレプリカを見せていただきました。

福井でも三角縁神獣鏡の破片が見つかっています。

【習ったこと】

- 福井県には3000基以上ある。
- 古墳のほとんどは、盗掘されている。
- 福井県の古墳の多くは山の上の高いところにある。
- 六呂瀬山古墳は北陸最大の前方後円墳で、140mある。
- 天神山古墳では、たくさんの鉄器や鉄剣が見つかっている。(貴重)

【生徒の感想】

文化財保護センターに保管されている、埴輪や銅鏡を見せていただきました。本物みたいで、とてもわくわくしました。

1年3組・4組(62名)

